



心をひとつに支え合い みんなの笑顔が輝く大生院

春を迎えて

桜の咲くこの季節、日本列島 南から北へとピンク色に染まっていく。稲荷山は裾から上へと色付いてゆく。春と聞いて何となくウキウキして心の中はピンク色になっていることと思います。そんなウキウキした気持ちでどンドン外に出て、お友達といっぱいお話しして、美味しいものをワイワイと賑やかに食べましょう。

そんな時に思い出してください・・・せせらぎ食堂を・・・。

新型コロナはゆっくりと下火になってきているおり、公民館の使用制限は解かれ、永らく途切れ途切れだった渦井せせらぎ食堂を、2月の後半から恐る恐る再開しています。(75歳以上の独居の方で参加ご希望の方、歓迎です！年間の予定とメニューを載せております。ご覧ください。)

これからは、途切れない事を願い、食事の時にとなりに座られた方とも間隔なく座ってお話に花が咲くといいですね！

みんなの笑顔がピンクに輝く地域に致しましょう！



そんな中、公民館だよりでお知らせしましたが、昨年12月13日に東京浅草で行われました全国社会福祉大会に於いて社会福祉協議会大生院支部が表彰されました。普段のボランティア活動やその行事に参加されたみなさんが受賞されたものです。賞状と盾を頂きました。

心と体の相談所

認知症の
ケアと治療

どうやって接したらいい？

認知症の人の気持ちを知ろう

あなたが認知症になった場合を想像してみてください。身に覚えのないもの忘れを何度も指摘されたり、今までできていたことを間違えたり、失敗するようになる。自分に何か異変が起きていることに不安を感じるのではないのでしょうか。

認知症になると、この不安を言葉や態度でうまく伝えることができないもどかしい日々が続きます。こんなとき、あなたは周囲の人にどう接してもらいたいですか。認知症ケアの基本は「認知症の人の気持ちになって考える」ことです。



不思議な行動には理由がある

大声を出す、徘徊するなど、一見理解できない行動であっても、その多くには理由があります。介護する人が認知症の人の気持ちになり、理由に気づいて適切な対応をしてあげられれば、症状は軽減できます。

ケアのポイントは「認知症の人中心」の接し方

認知症の人の気持ちになって考え、接することで行動・心理症状を和らげられることがあります。認知症によって“理解不能な人”になったわけではありません。もの忘れが多くなった“普通の人”として、これまで通り接すればよいのです。ただし、水を流しっぱなしにしたり火を消し忘れることもあり、こうした事故につながるおそれのあるもの忘れは、カバーする必要があります。

本人の気持ちに寄り添い、接することで認知症の進行が抑えられ、介護者の負担も緩和されます。理想は、認知症の人でも介護する人も、ストレスを減らして気持ちよくなること。

次の7か条を参考に認知症の人を中心としたケアを心がけてください。

認知症の人を中心としたケアの7か条

①安心感を与える

②普通の人と同じように接し、人間として尊重する

③プライドを傷つけない

④失敗を責めない

⑤教えようとしない

⑥訴えを頭ごなしに否定しない

⑦短く簡潔な言い方をする



令和5年度 うずいせせらぎ食堂 年間予定表

コミュニティ・スクール再スタート

★時間：12時～13時★

※すべて土曜日です

大生院中学校 鴨田 洋吾

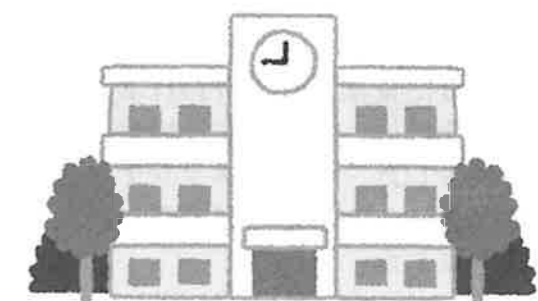
月	日	メニュー
4	15	炊き込みご飯、筑前煮、魚のおろし醤油焼き、みそ汁
6	10	酢豚、和え物、スープ
	24	ちらし寿司、魚の塩焼き、和え物、すまし汁
7	8	カレーライス、サラダ、果物
	22	じゃがいもコロケ、和え物、みそ汁
8	26	煮魚、煮物、みそ汁、ゼリー
9	9	肉巻きたまご、和え物、みそ汁、果物
10	14	ちらし寿司、鶏肉のさっぱり煮、和え物、すまし汁
	28	魚の竜田揚げ、煮物、みそ汁
11	11	すき焼き、和え物、みそ汁、ゼリー
	25	魚のホイル焼き、筑前煮、すまし汁
12	9	炊き込みご飯、豚肉の照り焼き、煮物、みそ汁
1	13	魚ハンバーグ、チーズ焼き、みそ汁
	27	芋炊き、和え物、果物
2	10	ちらし寿司、唐揚げ、和え物、すまし汁
3	9	豚肉のしょうが焼き、煮物、みそ汁、果物
	23	炊き込みご飯、魚の味噌漬け焼き、煮物、すまし汁

先日、新居浜市教育委員会が小中学校の適正規模・適正配置に関する基本計画案を公表した。小中一貫教育の導入や公共施設との複合化など、統廃合を軸に改編が進められる予定である。大生院地区では、2037年度までに大生院小学校と大生院中学校を統合し、小中一貫教育校を設ける計画になっている。少子化が進む中、学校数が減ったり、縮小したりすることは、残念ながら回避できず、「未来を創り出す子どもが育つ大生院」にするためにも、今後より一層、地域が一体となって、教育を進めていかなければならない。

大生院中学校は、平成31年度(令和元年度)から、コミュニティ・スクールとしてスタートし、4年になる。これまでは、コロナ禍のため、思うような活動ができていなかったが、最近のウィズコロナで徐々に動き始め、今年度は進路指導を地域の方々の協力を得て行うことができた。いつも見慣れた教員ではなく、普段あまり交流のない地域の方々に入試の面接練習をしていただいたことで、本番に近い状況で行うことができた。「緊張はあったが、練習になった。」と答える生徒も多く、子どもたちにとって、これまで以上に有意義なものになったと感じる。中学校は小学校より、地域と交流する機会が少ないと考えるのではなく、普段行っていることに協力していただいたり、地域が行っている行事に中学生が参加したりすると考えれば、まだまだ、機会を増やすことができる。

今、大生院中学校は、地域と共に新たなステージに上ろうとしている。新たなステージでは、今まで以上に学校、家庭、地域の対話を大切にしながら、「開かれた学校づくり」を進め、子どもたち、地域のために互いに知恵を出し合い協働していかなければならない。

「われらの大生院のために」



◎費用は毎回100円です。

◎毎回申し込みが必要です。(人数把握のため)

◎送迎が必要な方は、担当民生委員または大生院公民館まで連絡してください。

◎お休みする場合は、**4日前までに**公民館まで連絡してください。

◎その他お問い合わせは大生院公民館(41-6604)まで。